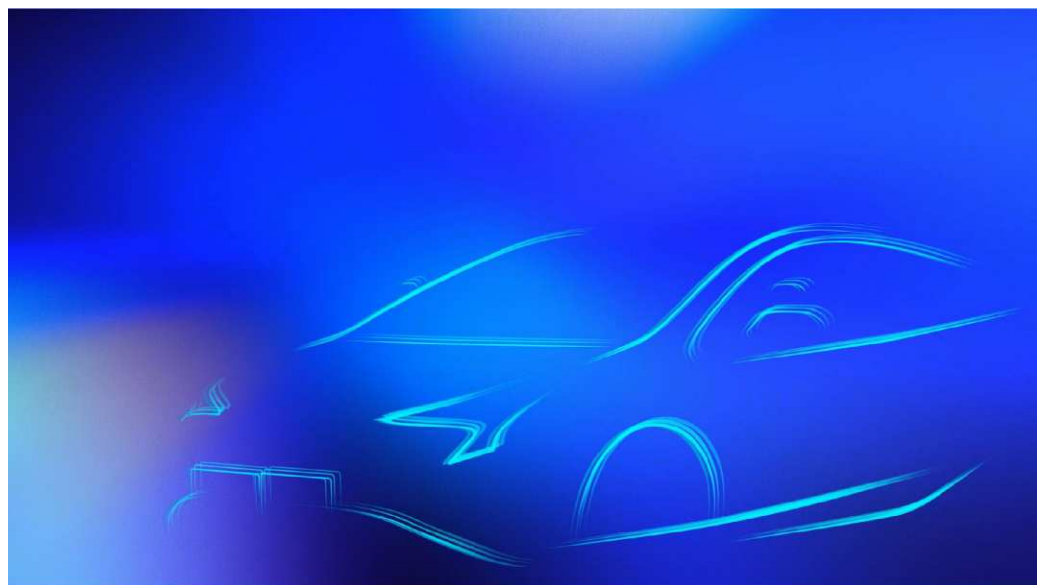


普通教習車用
タブレット型教習モニター



取扱説明書



1. 本書について	1-1
2. 必ず守って頂きたい事項	2-1
3. タブレット型教習モニターの概要	
(1) 各部の名称	3-1
(2) タブレット型教習モニターの特長	3-2
4. 画面表示の説明と操作方法	
【1】プリウス教習車用	
(1) タブレットの接続と起動	4-1
(2) タブレットの画面表示	4-3
(3) タブレットによる車両の操作	4-4
(4) 各メニューの機能と操作方法	4-5
(5) タブレットの終了	4-12
【2】カローラ教習車用	
(1) タブレットの接続と起動	4-13
(2) タブレットの画面表示	4-14
(3) タブレットによる車両の操作	4-15
(4) 各メニューの機能と操作方法	4-15
(5) タブレットの終了	4-16
5. タブレットへのデータコピー方法	5-1

1. 本書について

- ご使用に際しては、当取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書はタブレット型教習モニターについて正しい取扱い方法の説明をしています。

■ 本書表示の説明

 警告	取扱いを誤った場合、生命の危険や重大な障害につながる事項です。
■ 注意 ■	製品を使用する上で不都合を防止するため特に守っていただきたい事項です。
 アドバイス	製品をより理解して頂くための情報です。

2. 必ず守って頂きたい事項

警告

運転中、運転者にタブレットの操作を行わせないで下さい。



注意

本機は専用品です。タブレットをリセットしないで下さい。



注意

高温の状態での使用は動作不良を起こすおそれがありますので車内温度40℃以上での使用・保管には注意して下さい。

3. タブレット型教習モニターの概要

(1) 各部の名称



<付属品> USB AC アダプター

01-054

(2) タブレット型教習モニターの特長

従来の教官用計器類は複数別々に装着されており、車両状態の確認が煩雑になっていましたが、これらをタブレット上に集約表示することによって、視認性が向上しました。また、一部の車両操作（ホーン・ターンシグナル・運転席側フットランプ）も可能にして教官の操作を簡略化しています。さらに、運転状態を記録する事もでき、よりの確な教習を行う手助けになります。



プリウス教習車タブレット表示画面



カローラ教習車タブレット表示画面

4. 画面表示の説明と操作方法

【1】プリウス教習車用

(1) タブレットの接続と起動

- ① タブレットを車両とUSBケーブルで接続します。



- ② 車両を始動するとタブレットへの充電開始と同時にアプリが起動し起動画面が表示されます。



- ③ 起動画面の“START”ボタン（右図破線赤丸部）をタップします。



- ④ 車両と通信を開始し画面上にメーター類が表示される事を確認します。



- ⑤ タブレットをタブレットホルダーに設置します。



4-3 画面表示の説明と操作方法

(2) タブレットの画面表示

車両の操作・走行状況をタブレット上に表示します。



	表示内容	備考
①	ブレーキ作動	ブレーキペダルを踏むと表示
②	パーキングブレーキ作動	パーキングブレーキを作動させると表示
③	坂道発進アシスト (HAC) 解除	HAC解除 (車両側が自動で解除) されると表示
④	ハイビーム点灯	
⑤	運転席フットランプ点灯ボタン	※1
⑥	ターンシグナル及びハザード点灯	※1
⑦	エネルギーの使用・回収状況	
⑧	スピードメーター	
⑨	トリップメーター	
⑩	トリップメーターリセットボタン	
⑪	メニューボタン	※2
⑫	ホーンボタン	※1

※1 ⑤,⑥,⑫はタブレットから操作が可能です。但し⑥についてはハザードの操作ができません。操作方法はP4-4 (3) タブレットによる車両の操作を参照して下さい。

※2 各メニューの機能及び操作方法はP4-5 (4) 各メニューの機能と操作方法を参照して下さい。

(3) タブレットによる車両の操作

一部の車両操作をタブレットでできます。

① フットランプ

“FOOT LAMP” の表示（右図破線赤丸部）をタップすると運転席側フットランプが点灯し、表示が右図のように変わります。もう一度タップするとフットランプが消灯し、表示も元に戻ります。



② ターンシグナル

ターンシグナルの表示（右図破線赤丸部）をタップするとターンシグナルランプが作動し、右図のような表示をします。もう一度タップすると、ターンシグナルランプが消灯し、表示も消灯します。なお、ハザードランプは操作できません。



③ ホーン

メーター部（右図破線赤丸部）をタップするとホーンが鳴ります。押し続けると鳴り続け、離すと鳴り止みます。



4-5 画面表示の説明と操作方法

(4) 各メニューの機能と操作方法

メニュー画面へ移るには（右図破線赤丸部）の矢印表示をタップします。



各メニューをタップすることにより、それぞれの機能を使用できます。
内容についてはそれぞれの項目を参照して下さい。



項目	機能
① 運転状態モニター	P 4-6 1) 運転状態モニターを参照
② 写真	P 4-10 2) 写真を参照
③ 運転教本	P 4-11 3) 運転教本を参照
④ 名簿	P 4-9 B.過去の記録閲覧の②から参照
⑤ その他	未使用（機能しません）
⑥ 戻るボタン	メーター表示画面へ戻ります

1) 運転状態モニター

運転状態モニターでは運転者を登録することにより、エコ運転の評価や運転状態が記録することによって、過去の運転状態との比較ができます。

運転状態モニターへ移るには
“運転状態モニター”（右図
破線赤丸部）タップします。



A. 登録

- ① 運転状態モニターの画面で
“登録”（右図破線赤丸部）
をタップします。



- ② 右図の入力画面が表示されますので、“名前を入力”
（右図破線赤丸部）をタップ
します。



4-7 画面表示の説明と操作方法

- ③ キーボードが表示されますので名前を入力します。



- ④ 名前を入力後“数字を入力”（右図破線赤丸部）をタップします。



- ⑤ テンキーが表示されるので車両のナンバー（4桁数字）を入力します。



- ⑥ 数字を入力後“登録”（右図破線赤丸部）をタップします。



- ⑦ 登録後“START”（右図破線赤丸部）をタップすると記録を開始します。（開始するとアイコンが表示されSTARTの文字が暗転します）



- ⑧ メニュー画面に戻るには“戻る”（右図破線赤丸部）をタップします。

👍 アドバイス

メニュー画面・メーター表示画面に戻っても記録は継続します。



- ⑨ 記録を止めたい時は“STOP”（右図破線赤丸部）をタップします。（停止するとアイコンが表示されSTOPの文字が暗転します）



- ⑩ “画像保存”（右図破線赤丸部）をタップするとスタートからその時点での記録を保存します。（保存内容はこのアプリ上で閲覧します。）



4-9 画面表示の説明と操作方法

B. 過去の記録閲覧

- ① 過去の記録を閲覧したい場合は“VIEWER”（右図破線赤丸部）をタップします。



- ② 過去の記録が一覧表示されますので見たい記録をタップします。

👆 アドバイス

記録は古い順に表示されます。見たい記録が画面上にない場合、上下にスワイプして探します。



- ③ 過去の記録が表示されます。



2) 写真

この機能は教習コースの画像などをタブレット上に表示させることができます。

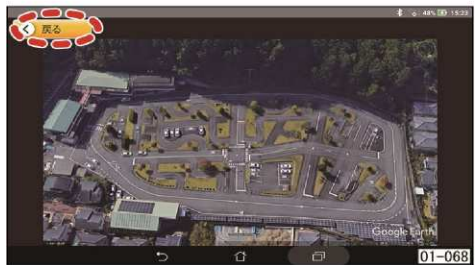
- ① 画像を表示させるには“写真”（右図破線赤丸部）をタップします。



- ② 画像一覧が表示されるので閲覧したい画像をタップします。
“戻る”（右図破線赤丸部）をタップするとメニュー画面に戻ります。



- ③ 画像が表示されます。“戻る”（右図破線赤丸部）をタップすると画像一覧画面に戻ります。



4-11 画面表示の説明と操作方法

3) 運転教本

この機能は運転教本などPDF化したデータを閲覧することが出来ます。

- ① PDFを表示させるには“運転教本”（右図破線赤丸部）をタップします。



- ② PDF一覧が表示されるので閲覧したいPDFをタップします。矢印（右図破線赤丸部）をタップするとメニュー画面に戻ります。



- ③ PDFが表示されます。矢印（右図破線赤丸部）をタップすると画像一覧画面に戻ります。



(5) タブレットの終了

- ① イグニッションOFFにすると通信が切断され画面上はハザード表示になります。



- ② 一定時間経過後初期画面に戻り、その後スリープモードになります。



アドバイス

タブレット本体の電源は切らないでください。



【2】カローラ教習車用

（1）タブレットの接続と起動

タブレットの接続と起動は、プリウス用と同じになります。操作方法はプリウス用の項目（P4-1）を参照してください。

(2) タブレットの画面表示



	表示内容	備考
①	ブレーキ作動	ブレーキペダルを踏むと表示
②	パーキングブレーキ作動	パーキングブレーキレバーを作動させると表示
③	クラッチ作動	クラッチペダルを踏むと表示
④	坂道発進アシスト（HAC）解除	HAC解除（車両両側が自動で解除）されると表示
⑤	ハイビーム点灯	
⑥	運転席フットランプ点灯ボタン	※1
⑦	ターンシグナル及びハザード点灯	※1
⑧	タコメーター	
⑨	スピードメーター	
⑩	トリップメーター	キーオフから6秒でリセット
⑪	トリップメーターリセットボタン	
⑫	運転状態モニター切替えボタン	※2
⑬	ホーンボタン	※1

※1 ⑥,⑦,⑫はタブレットから操作が可能です。但し⑦についてはハザードの操作ができません。操作方法はP4-15（3）タブレットによる車両の操作を参照して下さい。

※2 各メニューの機能及び操作方法はP4-5（4）各メニューの機能と操作方法を参照して下さい。

4-15 画面表示の説明と操作方法

(3) タブレットによる車両の操作

① フットランプ

“FOOT LAMP” の表示（右図破線赤丸部）をタップすると運転席側フットランプが点灯し、表示が右図のように変わります。もう一度タップするとフットランプが消灯し、表示も元に戻ります。



② ターンシグナル

ターンシグナルの表示（右図破線赤丸部）をタップするとターンシグナルランプが作動し、右図のような表示をします。もう一度タップすると、ターンシグナルランプが消灯し、表示も消灯します。
なお、ハザードランプは操作できません。



③ ホーン

メーター部（右図破線赤丸部）をタップするとホーンが鳴ります。押し続けると鳴り続け、離すと鳴り止みます。



(4) 各メニューの機能と操作方法

各メニューの機能と操作は、プリウス用と同じになります。機能及び操作方法是プリウス用の項目（P4-5）を参照してください。

(5) タブレットの終了

タブレットの終了方法は、プリウス用と同じになります。操作方法はプリウス用の項目（P4-12）を参照してください。

5. タブレットへのデータコピー方法

タブレット上で表示させたい教習コースの画像や、運転教本などの文書データはパソコンからコピーします。

👉 アドバイス

画像データはjpeg、文書データはPDFデータにしてコピーして下さい。

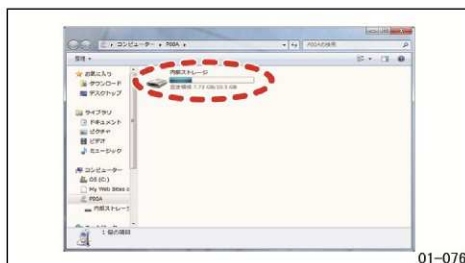
- ① パソコンへUSBケーブルで接続すると右図のような画面がタブレットに表示されますので“はい”（右図破線赤丸部）をタップします。



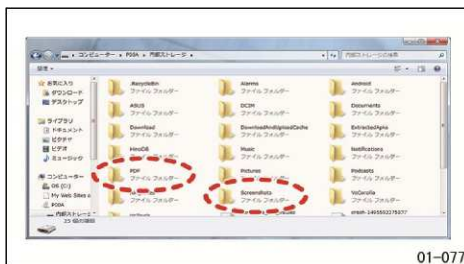
- ② パソコン上に右図のようなウィンドウが表示されますので“デバイスを開いてファイルを表示表示する”（右図破線赤丸部）をクリックします。



- ③ 接続したタブレットが表示されます（右図破線赤丸部）のでクリックして開きます。



- ④ タブレット内のフォルダー一覧が表示されますので画像データは“Screenshots”フォルダ（右図赤丸①）、文書データは“PDF”フォルダ（右図赤丸②）へコピーしてください。



01-077

お問い合わせ・ご相談は、下記へお願いいたします。

新 明 工 業 株 式 会 社

自動車事業本部

〒471-0874 愛知県豊田市前田町3丁目20番地

TEL: (0565) 34-0701